

# 第91期 中間事業報告書

自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日



日本化成

# 経営ビジョン

～私たちの目指すもの～

- 私たちは、化学技術をベースに事業拡大を図り、お客様にとって頼りがいのある

「スペシャリティケミカルズの日本化成」

環境変化に迅速に対応できる

「自己変革を続ける高収益企業」

を目指します。



※四つ葉のクローバーは幸運のシンボル  
日本化成の登録商標

# 株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

さて当社は、平成16年9月30日をもって第91期上半期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の決算を行いましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

平成16年12月

取締役社長 一万田道敏

# 営業の概況

当社グループの第91期上半期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、米国、中国等海外向けの輸出を主体に回復基調に推移してまいりましたが、混迷の続くイラク情勢などから、依然として先行き不透明な状況にあります。当社を取り巻く環境も、原燃料価格の高騰によるコスト上昇等、依然厳しい状況にあります。

このような情勢の下におきまして当社及び当社グループは、販売価格の是正、数量の確保、新規用途の開拓等、営業活動に注力するとともに、引き続き徹底したコスト削減を推進し、業績の維持向上に努力いたしました。

その結果、当社グループの連結売上高は13,867百万円と、前中間連結会計期間に比し22百万円の減少となりました。損益におきましては、経常利益は134百万円と、前中間連結会計期間に比し100百万円の増加となりましたが、中間純損失は340百万円と、前中間連結会計期間に比し388百万円の減少となりました。

一方、当上半期の当社単独の業績は、売上高は8,453百万円と、前中間期に比し182百万円の減少となりました。また、損益におきましては、経常利益は74百万円と、前中間期に比し6百万円減少し、中間純利益は1,085百万円と、前中間期に比し1,026百万円増加いたしました。

しかしながら中間配当につきましては、当期の業績、中長期的見地からの財務体質強化等総合的に勘案し、遺憾ながらその実施を見送らせていただくことといたしました。

今後の景気の見通しにつきましては、回復基調にあった日本経済も、米国や中国、東南アジアを中心とした海外経済の成長鈍化が不安視され、先行きの不透明感を拭えない一方、雇用や所得情勢が明確な回復軌道に乗っておらず、個人消費は引き続き低迷し、台風や地震による地域経済に

与える影響も懸念されます。さらに、原油価格の高騰による影響も見込まれるなど、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。

当社及び当社グループといたしましては、このような情勢に対処すべく、全社をあげての一層の合理化、コスト削減等を推進し、営業活動の積極的展開により既存事業の収益力のさらなる向上を図るとともに、スペシャリティケミカルズ事業を強化し、経営基盤の安定強化に努めてまいり所存であります。

また、本年12月1日をもって、当社と三菱化学(株)がそれぞれ行っていたアンモニア系製品事業を、当社に集約・統合することといたしました。当社は、三菱化学グループの無機事業分野の中核企業として位置付けられ、この事業統合により、最適生産・物流体制を構築し、生産・販売・技術面でのシナジー効果の最大化を図り、確固たる事業基盤を確立してまいります。

## セグメント別の状況

### 無機化学品事業

アンモニア系製品は、需要が減少したため販売量が減り、売上高は減少しました。ゴム用カーボンブラックは、ユーザーが堅調に推移したことで売上高は若干増加しました。

その結果、無機化学品事業全体の売上高は2,435百万円と、前中間連結会計期間に比し5百万円増加しましたが、営業損失は4百万円と、前中間連結会計期間に比し80百万円減少いたしました。

### 機能化学品・化成品事業

機能性モノマーは、接着剤、グラビアインキ、自動車用塗料向けにおいて水系化等の環境対応化が進む中で、依然市場を開拓しております。紫外線硬化樹脂は、帯電防止機能が評価されディスプレイ用光学フィルム向けに販売が始まりました。

脂肪酸アמיד、タイク（ゴム、プラスチック架橋助剤）及びワックスは、市況が堅調に推移したことにより増販と

なり、医農薬中間体は、前年同期並みの売上高となりました。電子工業用高純度薬品は、IT関連需要の回復により需要は好調に推移したものの市況は下落し、売上高は減少しました。

メタノールは、原料価格が依然高止まりで推移しており、製品価格に十分に反映できず売上高は減少しました。木材加工関連製品の接着剤・ホルマリン・工業用尿素は、住宅建設の低迷状態が続いておりますが、ほぼ前年同期並みの売上高となりました。

その結果、機能化学品・化成品事業全体の売上高は8,234百万円と、前中間連結会計期間に比し59百万円減少しましたが、営業利益は68百万円と、前中間連結会計期間に比し87百万円増加いたしました。

## **エンジニアリング事業**

受注確保に鋭意努めましたが、エンジニアリング事業の売上高は1,049百万円と、前中間連結会計期間に比し158百万円減少し、営業損失は20百万円と、前中間連結会計期間に比し30百万円減少いたしました。

## **その他事業**

環境事業の受注高が増加した結果、その他事業全体の売上高は2,149百万円と、前中間連結会計期間に比し190百万円増加し、営業利益は67百万円と、前中間連結会計期間に比し53百万円増加いたしました。

# 中間連結貸借対照表

(平成16年9月30日現在)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
<b>流動資産</b>	<b>17,280</b>	<b>流動負債</b>	<b>23,547</b>
現金及び預金	2,143	支払手形及び買掛金	5,650
受取手形及び売掛金	9,131	短期借入金	15,452
棚卸資産	3,101	未払法人税等	61
繰延税金資産	176	賞与引当金	334
短期貸付金	2,314	その他	2,050
その他	425	<b>固定負債</b>	<b>4,680</b>
貸倒引当金	△10	長期借入金	1,448
<b>固定資産</b>	<b>19,974</b>	退職給付引当金	3,111
<b>有形固定資産</b>	<b>16,497</b>	連結調整勘定	7
建物及び構築物	4,420	その他	114
機械装置及び運搬具	4,315	<b>負債合計</b>	<b>28,227</b>
土地	7,205	(少数株主持分)	
その他	557	少数株主持分	90
<b>無形固定資産</b>	<b>78</b>	(資本の部)	
投資その他の資産	3,399	資本金	6,593
投資有価証券	1,449	利益剰余金	2,331
繰延税金資産	1,625	その他有価証券評価差額金	14
その他	348	自己株式	△1
貸倒引当金	△23	<b>資本合計</b>	<b>8,937</b>
<b>資産合計</b>	<b>37,254</b>	<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>37,254</b>

# 中間連結損益計算書

(自 平成16年4月1日  
至 平成16年9月30日)

摘 要	金	額
	百万円	百万円
売 上 高		13,867
売 上 原 価		11,434
売 上 総 利 益		2,433
販売費及び一般管理費		2,322
販 売 費	786	
一 般 管 理 費	1,536	
営 業 利 益		111
営業外収益		240
受 取 利 息	2	
受 取 配 当 金	28	
持分法による投資利益	77	
国庫補助金受贈益	92	
そ の 他	41	
営業外費用		217
支 払 利 息	79	
固 定 資 産 圧 縮 損	92	
そ の 他	46	
経 常 利 益		134
特 別 利 益		350
投資有価証券売却益	350	
特 別 損 失		100
関係会社整理損	100	
税金等調整前中間純利益		384
法人税、住民税及び事業税	41	
法 人 税 等 調 整 額	672	713
少 数 株 主 利 益		△11
中 間 純 損 失		340



# 中間貸借対照表

(平成16年9月30日現在)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	10,947	流動負債	16,162
現金・預金	1,190	支払手形	18
受取手形	1,346	買掛金	2,660
売掛金	3,849	短期借入金	12,325
製品	907	未払金	333
半製品・仕掛品	438	未払法人税等	21
原料・貯蔵品	407	未払事業所税	12
未収入金	269	未払費用	583
前払費用	115	賞与引当金	147
短期貸付金	2,310	その他の流動負債	58
繰延税金資産	89	固定負債	3,787
その他の流動資産	22	長期借入金	999
固定資産	16,931	退職給付引当金	2,735
有形固定資産	14,375	その他の固定負債	51
建物	2,335	負債合計	19,950
構築物	1,242	(資本の部)	
機械装置	3,442	資本金	6,593
車両運搬具	3	利益剰余金	1,325
工具器具備品	174	中間未処分利益	1,325
土地	6,898	株式等評価差額金	10
建設仮勘定	278	自己株式	△1
無形固定資産	18	資本合計	7,928
諸利用権	13		
ソフトウェア	4		
投資その他の資産	2,537		
投資有価証券	496		
子会社株式	460		
長期貸付金	12		
長期前払費用	172		
繰延税金資産	1,304		
その他の投資等	106		
貸倒引当金	△14		
資産合計	27,878	負債及び資本合計	27,878

# 中間損益計算書

(自 平成16年4月1日  
至 平成16年9月30日)

摘 要	金	額
(経常損益の部)	百万円	百万円
営業損益の部		
営業収益		8,453
売上高	8,453	
営業費用		8,417
売上原価	6,890	
販売費及び一般管理費	1,526	
営業利益		35
営業外損益の部		
営業外収益		136
受取利息及び配当金	78	
国庫補助金受贈益	12	
その他の収益	45	
営業外費用		97
支払利息	65	
固定資産圧縮損	12	
その他の費用	20	
経常利益		74
(特別損益の部)		
特別利益		1,775
投資有価証券売却益	1,775	
特別損失		92
関係会社整理損	92	
税引前中間純利益		1,757
法人税、住民税及び事業税		6
法人税等調整額		665
中間純利益		1,085
前期繰越利益		239
中間未処分利益		1,325

# 会社概要 (平成16年9月30日現在)

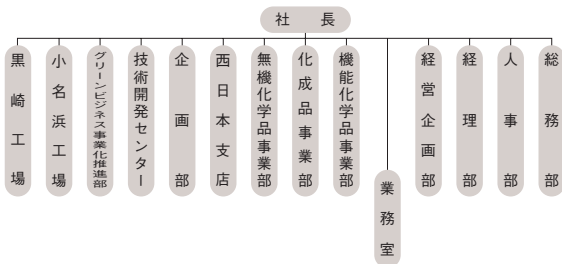
- 商号 日本化成株式会社
- 英文社名 Nippon Kasei Chemical Company Limited
- 本店所在地 福島県いわき市小名浜字高山34番地
- 資本金 6,593百万円
- 創立 昭和12年9月1日

## 会社組織及び主要な事業内容

当社は平成16年12月1日をもって三菱化学(株)のアンモニア系製品事業を統合し、これに伴い組織等を変更いたしました。

### 組織図

(平成16年12月1日改正)



### 主要な事業内容

(平成16年12月1日現在)

部門別	主要製品名
機能化学品事業部	紫外線硬化樹脂、機能性モノマー、脂肪酸アמיד、ワックス、タイヤ（ゴム、プラスチック架橋助剤）、有機フィラー、医農薬中間体、電子工業用高純度薬品、2-ピロリドン（有機溶剤）、キルパー（土壌殺菌剤）、感光性樹脂原料等
化成品事業部	メタノール、ホルマリン、ウロトロピン、工業用尿素、硫酸、接着剤、蒸溜事業等
無機化学品事業部	硝酸、硝酸塩類、液安、混酸、液体尿素、高品位尿素水、ゴム用カーボンブラック等

# 役員

(平成16年12月1日現在)

地 位	氏 名	担当又は主な職業
取締役社長 (代表取締役)	一万田 道 敏	
専務取締役	吉 村 完	企画部・技術開発センター・グリーンビジネス事業化推進部担当、技術総括
専務取締役	松 永 正 大	機能化学品事業部・化成品事業部・無機化学品事業部・業務室・西日本支店担当、営業総括
常務取締役	瀧 澤 寛	人事部担当
常務取締役	齋 藤 征 雄	総務部・経理部・経営企画部（含む関連事業）担当
取 締 役	大 兼 勝 彦	小名浜工場長
取 締 役	斎 藤 和 芳	機能化学品事業部長
取 締 役	吉 田 栄 喜	経営企画部情報システム室長
取 締 役	高 田 忠 廣	化成品事業部長
取 締 役	原 山 博 志	三菱化学(株)常務執行役員（機能化学セグメント分担）
取 締 役	安 田 正 介	三菱商事(株)執行役員機能化学品本部長
監査役(常勤)	川 村 邦 生	
監査役(常勤)	門 屋 利 男	
監 査 役	山 口 和 親	三菱化学(株)理事機能化学企画部門管理部長

(注) 1. 取締役原山博志および安田正介の両氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。

2. 監査役川村邦生、門屋利男及び山口和親の3氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

3. 監査役越智 仁氏は、平成16年11月30日をもって辞任いたしました。

# 株式の状況 (平成16年9月30日現在)

- ① 会社が発行する株式の総数 200,000千株
- ② 発行済株式の総数 105,115千株
- ③ 当中間期末株主数 7,187名
- ④ 大株主

株 主 名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	議決権比率
三菱化学株式会社	55,450 <sup>千株</sup>	52.88 <sup>%</sup>	— <sup>千株</sup>	— <sup>%</sup>
三菱商事株式会社	12,750	12.16	—	—
株式会社みずほコーポレート銀行	3,700	3.52	—	—
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社信託口	1,607	1.53	—	—
東京海上火災保険株式会社	1,255	1.19	—	—
日新建物株式会社	969	0.92	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社信託口	715	0.68	—	—

# 主要な事業所／グループ会社

## 主要な事業所

(平成16年12月1日現在)

名 称	所 在 地
小 名 浜 本 社	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3111
東 京 本 社	〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル7F TEL 03-5540-5861
西日本支店 化成品・機能化学 品営業グループ	〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル7F TEL 06-6231-1892
無機化学品営業部 無機化学品大阪 営業グループ	〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル7F TEL 06-6204-8422
無機化学品中部 営業グループ	〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビル6F TEL 052-565-3554
無機化学品九州 営業グループ	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-19-24 大博センタービル7F TEL 092-432-0103
技術開発センター	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3115
小 名 浜 工 場	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3111
黒 崎 工 場	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-1 (三菱化学(株)黒崎事業所内) TEL 093-643-2360

## グループ会社

岩 手 レ ジ ン(株)	日化エーピーサービス(株)
小 名 浜 海 陸 運 送(株)	日化エンジニアリング(株)
小 名 浜 蒸 溜(株)	日 化 新 菱(株)
小 名 浜 配 湯(株)	日化トレーディング(株)
日 化 運 輸(株)	日化ビジネスサービス(株)

※福島総合警備保障(株)につきましては、平成16年9月24日をもって当社の保有する同社の株式の全てを総合警備保障(株)に譲渡いたしました。

※三水ケミカル(株)は平成16年9月29日をもって解散いたしました。



Speciality  
スペシャリティケミカルズ  
Chemicals

DS PLAN 21  
Dynamic Speciality Plan

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
同総会権利行使 株主確定日	3月31日
利益配当金支払 株主確定日	3月31日
中間配当金支払 株主確定日	9月30日
名義書換代理人	三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
郵便物送付先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
電話お問合せ先	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル) 自動音声応答サービス 0120-86-4490 (住所変更、配当金振込指定・変更、 単元未満株式買取請求に必要な各用 紙、および株式の相続手続依頼書の ご請求を24時間承っております。)
上場証券取引所	東京証券取引所
1単元の株式の数	1,000株
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞 なお、決算公告に代えて、貸借対照表 および損益計算書の開示は、次の当社 ホームページに掲載しております。 ( <a href="http://www.nkchemical.co.jp/investor-j/">http://www.nkchemical.co.jp/investor-j/</a> )



環境に配慮した「大豆由来インク」  
を使用しています。



古紙配合率100%再生紙